

2022年(令和4年)8月1日(月)～2日(火)の1泊2日で開催しました。参加者は14名(3年:2名、2年:8名、1年:4名)でした。新型コロナの第7波で急速に感染者数が増えている時期でしたが、感染予防対策をしっかりと取って、無事に終わりました。

◆入所式

濱上先生の司会により、入所式が始まりました。校長先生より、「進学するために何が必要か、どこで(高校生活のどの地点で)気づくか。この合宿で何に気づくか、何を感じるか。自分で計画を立てて学習し、時には調整しながら、なりたい姿を想像して、その姿に近づくように粘り強く取り組む姿勢を身につけてほしい」と言葉をいただいた。生徒代表として、3年4組山崎菜々美さんが、「進学合宿、みんなで頑張りましょう」とあいさつしました。



◆進路講話① 「受験に向けて」セントラルルーツ教育研究所 中根彰宏 氏
人生100年時代、将来の仕事やキャリア形成について考え、どんな大学へ進むのかを考えてほしい。大学卒業時の就職試験で問われる適正検査は「言語テスト(国語・英語)」と「非言語テスト(数学)」である。また、面接で問われるのは、社会人基礎力(主体性、課題発見力、柔軟性など)である。だからこそ、今勉強しておいて損はない。具体的に10年後の自分がどんな活躍しているか(どこで、だれと、どんな仕事?)をイメージして描けるようになっていこう。高校2年生で培われた「他者理解力」「計画実行力」「コミュニケーション・リーダーシップ」「社会文化探究心」は大学生になっても変わりなく維持することができる。だからこそ、今これらの力を磨こう。主体的な学習態度を身につけるために「将来こういう風でありたい」を持っているのか、そのために何をすべきか分かっているか、そして実行しているか、が大切である。



「行動力&対人力」、「熱意&主体性&チャレンジ精神」など、企業が求める力を養っているか大学を測ると偏差値で見た時の順位と違う大学が上位に来る。自分が身につけたい力をどの大学でつけるのかを考えることが必要。「習いたい先生がその大学にいるから」でも良い。講和全体を通して、目的をもって学ぶことが大切だと教えていただきました。2年1組久保乃々佳さんが「今の時代に求められていることとして、柔軟力や情報処理力などが必要だと教えてもらったのが良かった」と生徒代表としてお礼のあいさつをしました。

◆学習①英語(選択)

全商英検1級対策(5名)は、石倉先生から、「検定試験のあらまし・リスニング対策・単語対策」などの受験への取り組み方を教えて頂きました。また、共通テストor英語小論文対策(9名)では、野村先生から、「丁寧に速く英文を読むこと・各設問をよく読むこと」と解くにあたり、ポイントを教えて頂きました。



◆学習③ 国語(選択) 共通テスト対策(3名)は、青木先生から、時間配分、問題文への線のひき方、理解の仕方、問題の解き方などを教えて頂いた。志望理由書・自己PRの書き方(11名)は、片山先生から「ゴールとして、何をしたいのか」→「スタートとして経験+現状、きっかけ」→「社会全体としての幸福を追求する」→「大学での学び方・企業の課題を解決する」という流れでまとめると良いと教えて頂いた。



◆学習⑤卒業生の受験体験を聞く及び卒業生の入試相談会

138回の丸山智也さん(兵庫県立大学4回生)と柏本慈温さん(大阪経済大学4回生)と葛西敦貴さん(神戸学院大学4回生)の3名の卒業生が来てくれました。それぞれの受験体験や高校生活での取り組みの話や話を班ごとに分かれて話をしてくれました。続いて、3名の卒業生に加えて、清水秀先生、中川先生、小林先生、奥村先生、小西先生も交えて、入試相談会をしました。今回の合宿の1日目で得たことや今の高校生活の話、入試の悩みなど多岐にわたり、いろんなことを話す機会となりました。



◆学習⑥グループ・ディスカッション

卒業生3名を加えて、3班に分かれてディスカッションを行いました。1つ目のお題は、「食品ロス対策として食べ残しを持ち帰ることに賛成か、反対か」事前にお題が出されていたことに対して、HPなどで調べた資料をもとにディスカッションを進めました。持ち帰る消費者としての意見だけでなく、お店側の意見も踏まえるなど多角的に意見交換ができました。2つ目のお題は、「新しいお店を出すならどんなお店?」について。自分たちで準備できていないお題に対して、どのように対処していくかがポイントです。これを踏まえて、今自分たちが悩んでいること、したいことなどを中心にグループで一つのお店を提案していました。急に振られたお題に柔軟に対応するには、知識がないと話せない。そのためにも、普段からいろんなことに興味関心をもつことが大切だと知りました。

◆学習⑨ 数学(選択)

共通テスト対策(4名)は、前田先生から、「数学①(数I or 数II A)は70分で4題を解答する。分量が多い。そのためは、1題約15分で解けるようにしたい。最終的には、読解力(読む力)が必要である。でも、その前提には基本的な計算力や解法を知っていることが必要である。計算力UP+解法を知るために何をすれば良いか?それは、教科書の例題や問いを解く、そして、章末問題を解く。ここからの勉強として、答えが見えている問いばかりではないので、どうしたらいいかな!?という視点が大切である」と教えていただいた。受験に向けて(10名)は、土田先生から「スピーディに正確に、時間配分が命、「誘導形式」に慣れよう」と、前半は、大学のシラバスを見て大学で学ぶ数学を知り、後半はセンター試験と共通テストとの違いを教えていただき、今後の対策を考えるきっかけになりました。



◆進路講和② 「大学の選び方や大学で学ぶこと」 清水秀樹先生

須磨寺の副住職小池陽人さんが急用のため、進学合宿には来られなくなりましたので、代わりに清水秀樹先生に進路講和をしていただきました。

テレビ東京の番組「ガイヤの夜明け」の「進化する道の駅」を視聴した。少子高齢化社会における課題解決の一つとして、高齢者が活躍する道の駅や地域資源を利用した道の駅発着のツアーなどの話を紹介していただいた。また、大学生で町の和菓子の売上増を計るプロジェクトを成功させ、その後、企業した女性二人の話を紹介していただいた。これらのように、発想の転換で解決することが世の中にはたくさんあること、そのためには日ごろから意識を高く、様々なことに関心を持つこと、社会の課題を解決したいから大学へ行っても良いこと、地方の大学で地域の課題解決策を考えても良いことなどを熱心に教示していただいた。



◆退所式

キャリアセンター長、武貞より「入所式に校長先生がおっしゃっていたことを覚えていますか？この合宿で何を気づきましたか？また、この合宿ができていることは様々な人の支えがあってこそなので、感謝の気持ちを忘れずに」とあいさつをしました。生徒代表として3年7組梅井茜音さんより「この合宿での気づきを、今後の学校生活に活かしていこう」とあいさつがありました。最後に、濱上先生より、「須磨寺（弘法大師）と綱敷天満宮（菅原道真）を結ぶ道は、弘法大師、菅原道真がともに「学問・智慧」と縁の深い人物であることから、「智慧の道」と呼ばれています。この道を通ると、知恵を授かり、学業成就のご利益があるとされています。皆さんは、そんな場所である須磨寺で勉強をしたので、受験勉強にもご利益があると思いますので、今後も頑張りましょう」と言葉をいただき、終了しました。



【生徒の感想】

- ・今求められている人材や資質の関係を知り、自分に足りていない能力は何なのか考えるきっかけになった。(略) 進学合宿に参加しなければ聞けないことがたくさんあったので、受験や大学での勉強に活かしたい。また、自分で何か疑問を持って深く追求することで、自分の興味や身の回りの発見能力が高まることが知れたのは良かった。
- ・自分の良いところと悪いところが浮き彫りになった。今後は悪い所を一つひとつこまめに直していきたい。良いところはノビノビと伸ばしていきたい。先生方や講師の先生、卒業生のお話も貴重な話が聞けて、すごく面白かったので、また参加したい。
- ・一番印象に残っているのは、志望理由書の授業です。正直、とても面白く楽しかったです。自分の今までごちゃごちゃした考えがとにかく書き出すことによって少しまとまってきて、頭の中で整理ができました。ですが、文章としては、全くまとめられていないので、スッと自分の考えが書きけるようにしたい。
- ・英語の共通テスト対策では、実際に解いてみて、単語力がとても必要だなと感じました。日頃のユメタンは少しサボリ気味なので、これからは満点取る気持ちで臨みたいと思います。英語の小論文の問題を見た時は驚きました。まず、文章すら理解ができないのでとても苦労しました。もっと日頃から英語に触れて、丁寧に素早く読めるように頑張っていきたいと思いました。
- ・大学生の話聞いて、とても勉強のモチベーションが上がったのが、一番幸せでした。最近全く勉強のやる気が出ないと相談すると、「まず1回にやることリストを作ったら良いよ」と。「まずは緩い目標で良い。どんどん厳しくしていくと、1つの事を達成する経験が何回もできるので、自身にもつながる」とアドバイスをもらった。
- ・国語の共通テストの問題が思っていた以上に解けたのでとてもうれしく、今後も頑張りたいと思った。
- ・1学期は、提出物がしっかり出せなかったけれど、計画を立てて早め早めにやって、余裕を持てるようにしたいと

思った。今回の合宿で学んだこと、頑張ったことをこれからの学校生活に活かしたい。

- ・第1志望を兵庫県立大学にしていた。県立大の先輩から、「簿記が得意で、英語が好き・得意、サポートが無くても頑張れるというならば、行ってもいいけれど・・・。それが無理なら県立大はやめておいた方が良い」と言われた。後日、県立大のオープンキャンパスに参加したが、この大学へいくメリットが分からなかった。もう一度、私立や地方の大学を視野に入れてしっかりと調べようと思った。
- ・進路講話①をはじめ、色んな先生から「なぜ」その大学を選んだのか、「なぜ」進学合宿に参加したのか等、理由を問われる場面がたくさんあった。「やらないよりもやった方がいいから」「なんとなく」というぼんやりとした答えしか出せず、理由を考える重要性を知った。理由を考えることで、自分で決めた選択に自信が持てることに加え、将来の目的もはっきりとさせることが出来る。誰もが納得できる理由が言えるようにしたいと思った。
- ・参加して、正直しんどかったです。こんなに勉強を必死にやったりするのが新鮮で初めての体験でしたが、受験生として意識が格段に上がって良かったです。(略) この合宿は先生も言っていたように、主体性が大切だと思ったので、主体的に勉強に取り組めることができて良かったです。
- ・「志望校が決まっていないから頑張らなくてもいい」ではなく、「志望校が決まっていないからどこでも行けるように頑張ろう」という気持ちになりました。私は計画を立てて実行することが苦手なので、今からでもその練習をしようと思います。たくさんのことを学んで良い経験になりました。もう少し志望校について考えて、来年も参加出来たらいいなと思います。
- ・特に英語は頑張らないといけないと思った。長文の紙を渡されて読もうとすると分からない単語がとても多かった。習ったことのある文法なのに、訳し方を忘れてしまっていたりと、英語はダメだと思った。大学生の話聞いた時も英語はやらないといけないと思った。推薦で大学へ行こうと思うと、STEP 準2級か2級は必要だと大学生も言っていたので、今後は英語を中心に頑張りたい。この合宿で、自分の課題が見つかった。
- ・グループ・ディスカッションで、情報を処理する力や自主的に行動することが、大学の推薦入試で必要だから大事だと思った。大学生の話で、大学行ってからやっとならばよかったのは「英語と数学」だったので、頑張ろうと思う。
- ・参加して自分はこんなにも集中できるんだという自信につなげることができました。忍耐力もつき、自分を見つめなおす良い経験になりました。先輩の受験の話聞いて、今のうちに準備できるものが明確になったと思います。
- ・国語の共通テスト対策授業では、本文をどれだけスピーディーに読むことができるのかと、問題の解き方について学ぶことができました。問題を解くときに、やるべきことやミスをなくす方法など、国語が苦手な私に最高の授業だったなと思いました。
- ・清水先生による講義は、新たな夢らしきものを見つけることもできました。自分が知っている「道の駅」だけでなく、地元の兵庫を飛び出して地方の「道の駅」のすごさや魅力などを感じました。そういう場で、自分の地元も特産物や有名なものなどを売ることによって、観光客や地元住民を引き寄せて人気スポットへと変えていくこと素晴らしさにも感動しました。視野が広がりました。
- ・数学の共通テスト対策では、数Iの範囲だったけど、はじめのアとイしか解けなかった。今まで解いたことのない問題だったけど、自分が解ける問題の応用だったので、できないと諦めるのではなく、しっかりと考えようと思いました。もう一度しっかりと教科書を見返したいです。
- ・大学へ行く目的を知れました。自身の将来の夢をかなえるために必要な資格や能力を得るだけでなく、大学特有の情報や行動で知識や経験を重ね、夢につなげる橋渡しをする場が大学です。今持っている夢が変わっても自身のスキルを上げることができるので、大学に行くことへの意識を高められました。そして、「複数人で何かを成し遂げるための能力」は今の自分に足りないものと知ることができました。また、自分がこれからの学校生活で「整理する力」をどう鍛えるかを考えるきっかけになりました。